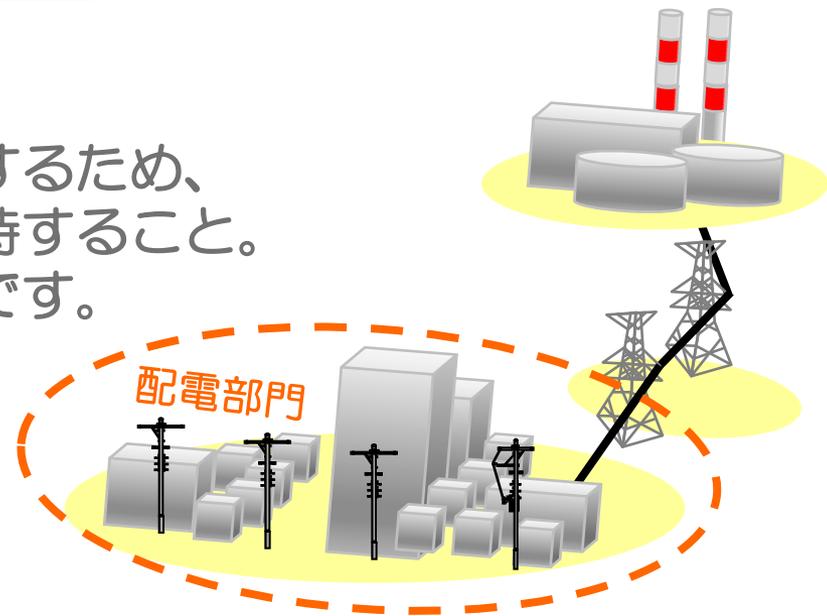


1. 配電部門の役割

お客さまに安定した電気をお届けするため、日々、電柱や電線などの設備を維持すること。これが東京電力の配電部門の役割です。

配電部門では、関東一円で1日あたり1万件の工事を行っています。



2. 導入経緯や課題

工事の施工品質を維持するためのチェックや、自主検査記録を大量の紙により実施しておりました。

- 現場で検査データ等をメモし、事務所で清書する2重作業の発生
- 設計変更に伴う監理員の現地立合に作業班の待ちロスが発生
- 紙資料のため、事業所や作業班単位の傾向分析が困難
- 大量な紙資料の保管場所が必要

3. システム導入による改善

導入モバイル3,000台（工事会社13社，作業班数2,800班）

（1）2重作業の回避、紙の削減

- モバイル端末で工事記録を作成することで帰社後の書類整理を軽減
- 各種申請や施工写真を全て電子化

（2）設計変更協議の効率化

- 現地で撮影した写真を基地局と共有することで、突発的な設計変更の可否判断と承認を効率化

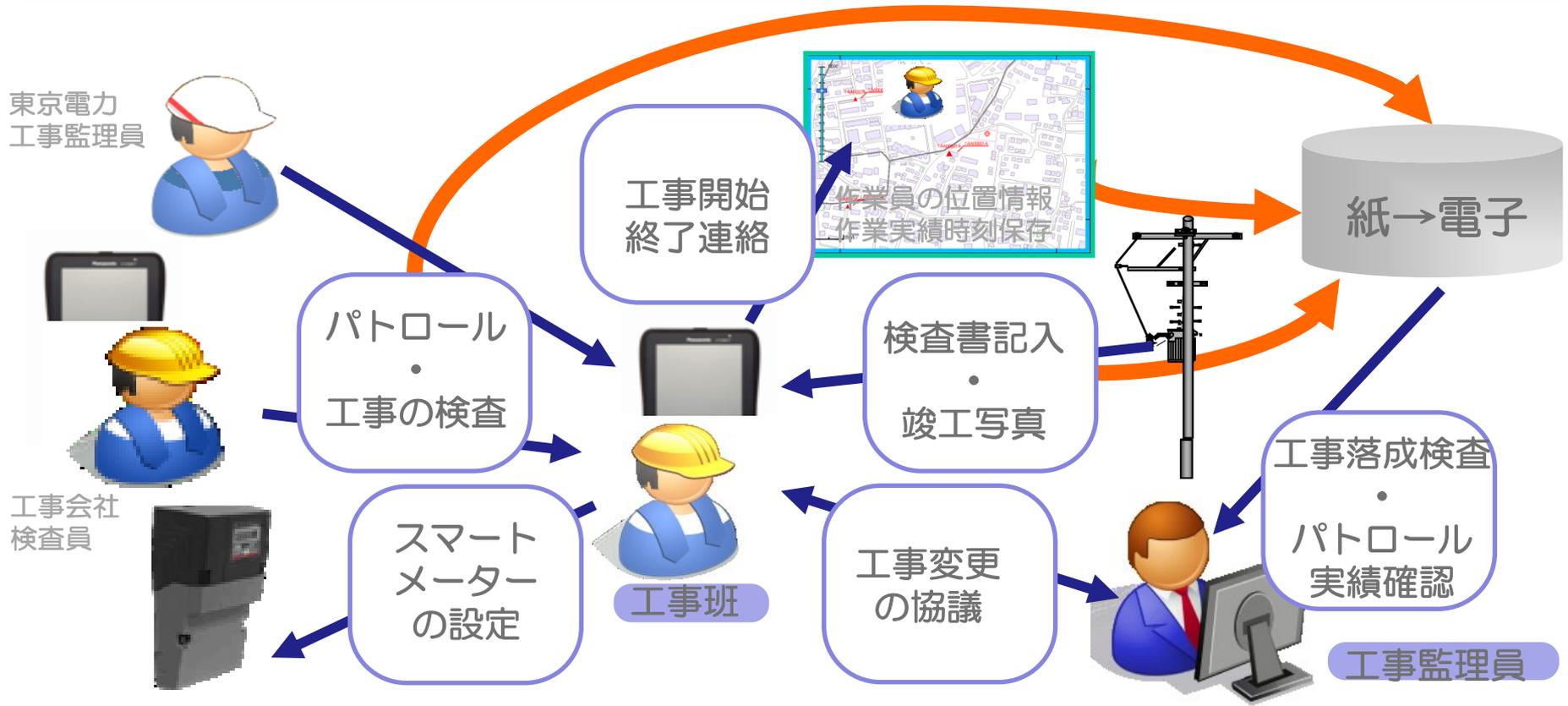
（3）パトロール記録の電子化

- 安全パトロールや監理員検査の記録を電子化することで、作業班単位の傾向分析を支援



システム概要

- モバイル端末に「工事検査書」などの情報を入力・蓄積
- 社内システムに情報をアップロードすることで報告が完了



工事で作成していた書類(紙)をゼロにしました